

**I 調査の概要**

1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査の内容	3
4. 回収結果	4
5. 集計・分析方法	4
6. 回答者の属性	4

**II 市民意識調査結果の分析**

1. 男女共同参画意識について	17
(1) 問1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方	17
(2) 問2 男女の立場	19
2. 家事・育児・介護について	30
(1) 問3 男女の役割分担（理想・現状）	30
(2) 問4 家事・育児・介護に携わる1日あたりの時間	34
(3) 問5 男性が家事、育児、介護を積極的に行うために必要なこと	37
3. 地域活動・防災について	40
(1) 問6 現在行っている地域活動、今後行いたい地域活動	40
(2) 問7 地域活動に参加するために必要な環境や条件	47
(3) 問8 男女共同参画の視点を活かした防災対策のために必要な取組	50
4. 仕事について	52
(1) 問9 この1か月間の就労状況	52
(2) 問9-1 職場での性別によるちがい	54
(3) 問9-2 非就労理由	58
(4) 問10 望ましい女性の働き方	62
5. ワーク・ライフ・バランスについて	65
(1) 問11 「仕事」「家庭生活」「個人の生活」の優先度（理想・現状）	65
(2) 問12 ワーク・ライフ・バランスを実現するための効果的な施策	71
(3) 問13 同居の子どもの有無	73
(4) 問13-1 一番低年齢の子どもの成長段階	74
(5) 問13-2 育児休業の取得状況	75
(6) 問13-3 育児休業の取得意向	77
(7) 問13-4 育児休業を取得しなかった（しない）理由	78
(8) 問14 育児休業を取得しやすくするために必要なこと	80
(9) 問15 介護経験	83
(10) 問15-1 要介護者との関係	84
(11) 問15-2 介護時期	86
(12) 問15-3 介護休業の取得状況	87
(13) 問15-4 介護休業を取得しなかった理由	88

# 目 次

---

6. 教育について .....	91
(1) 問 16 男女平等教育を進める上で重要なこと .....	91
7. 人権について .....	95
(1) 問 17 ハラスメントを受けた経験 .....	95
(2) 問 18 「デートDV」の認知度 .....	97
(3) 問 19 暴力の認識 .....	98
(4) 問 20 DV被害経験 .....	111
(5) 問 20-1 相談経験 .....	120
(6) 問 20-2 相談相手 .....	121
(7) 問 20-3 相談しなかった理由 .....	123
(8) 問 21 相談機関や施設の認知度 .....	125
(9) 問 22 DVの防止や対策のために必要な事業 .....	127
(10) 問 23 性的マイノリティの認知度 .....	129
(11) 問 24 性的マイノリティの人権を守るために必要な対策 .....	130
8. 女性活躍推進について .....	132
(1) 問 25 政策や方針の決定過程に女性の参画が少ない理由 .....	132
9. 小平市の男女共同参画に関する施策について .....	134
(1) 問 26 市で取り組んでいる男女共同参画施策の認知度 .....	134
(2) 問 27 男女共同参画社会を推進するために力をいれるべきこと .....	138
10. 自由意見 .....	141

## III 事業所実態調査結果の分析

1. ワーク・ライフ・バランスについて .....	147
(1) 問 1 ワーク・ライフ・バランスへの取組の実施状況 .....	147
(2) 問 1-1 実施している（実施を検討している）取組 .....	148
(3) 問 1-2 取組を推進するために実施している（実施を検討している）こと .....	149
(4) 問 1-3 取組を実施している（実施を検討している）きっかけ .....	150
(5) 問 1-4 取組によって期待する効果、得られた成果 .....	151
(6) 問 1-5 取組を実施していない理由 .....	153
(7) 問 2 「正規従業員」一人あたりの年次有給休暇の平均取得日数 .....	154
(8) 問 3 「正規従業員」一人あたりの月平均時間外労働時間 .....	155
(9) 問 4 各種労働制度の有無 .....	156
(10) 問 4-1 新型コロナウィルス感染拡大防止対策として継続して取り入れた制度の有無 .....	157
(11) 問 4-2 新型コロナウィルス感染拡大防止対策として継続して取り入れた具体的な制度 .....	158
(12) 問 4-3 制度を導入・実施したことによって得られた効果 .....	159
(13) 問 5 多様な働き方ができる制度を整備するうえで難しいこと .....	160

## 目 次

---

2. 従業員の仕事と生活の両立支援について	161
(1) 問6 出産した従業員数、育児休業取得人数	161
(2) 問6-1 最も多かった育児休業取得期間	164
(3) 問7 介護休業を取得した従業員数	165
(4) 問8 育児休業者・介護休業者の代替要員の確保	167
3. 職場のハラスメントについて	168
(1) 問9 問題になったハラスメント	168
(2) 問10 ハラスメント防止等の取組状況	170
(3) 問10-1 ハラスメントを防止するための具体的な取組	172
(4) 問10-2 相談窓口	173
(5) 問10-3 相談件数	174
(6) 問10-4 ハラスメントを防止する対策に取り組んでいない理由	175
4. 女性の活躍推進について	176
(1) 問11 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の認知度	176
(2) 問12 一般事業主行動計画の策定義務の対象拡大の認知度	177
(3) 問13 認定制度の認知状況・取得状況	178
(4) 問14 「一般事業主行動計画」の策定・届出の有無	179
(5) 問15 管理職、係長職および女性管理職、女性係長職の人数	180
(6) 問15-1 女性の管理職が少ない理由	181
(7) 問16 今後の人員計画	182
(8) 問17 パートタイマー等の従業員に対する支援策	183
(9) 問18 女性を活用するメリット	184
(10) 問19 女性を活用するための取組の実施状況	185
(11) 問20 女性を活用するうえでの問題点	186
5. 行政のワーク・ライフ・バランス施策について	187
(1) 問21 ワーク・ライフ・バランスを進めるにあたり行政に 支援してほしいこと	187
6. 自由意見	188

## IV 使用した調査票

市民意識調査	193
事業所実態調査	209